

地域活性化研究 選考審査基準

応募された地域活性化研究の中から、助成の対象となる事業を選考するため、次の審査基準を設ける。

1 審査方法

審査項目に基づいて書類審査を行い、得点が上位の事業から助成対象とする。

また、2か年にわたる研究の2年目の審査では、最初に「2か年助成する妥当性」について再審査を行い、結果が妥当であれば助成対象とする。なお、不当の場合は、他の申請事業と同様に審査を行うものとする。

※ 得点は、審査委員の合計点を審査委員数で割った平均値で算出する。

※ 助成対象が同一の学校、テーマ等の案件であっても、原則として得点の順位どおり助成対象とする。

※ 地域活性化研究の予算の範囲内又は学生の夢実現プロジェクトの助成対象（選考結果）を勘案し、同プロジェクトの予算の範囲内で助成可能となった場合、3位以下を助成対象とする場合がある。

2 審査項目及び配点

審査項目	評価ポイント	配点				
		低い ←				→ 高い
① 研究目的の明確性	研究目的と助成目的の整合性・研究目的がはっきりしているか	1	2	3	4	5
② 研究の独創性	研究内容の新鮮さ、斬新さ	1	2	3	4	5
③ 研究経費の適切性	使途の妥当性	1	2	3	4	5
④ 施策への反映性	呉地域への有益性 呉地域の将来の事業、施策（行政）への反映性	1	2	3	4	5
⑤ 総評・コメント（必須）	研究の優れている点、不足している点を記述する					
⑥ 2か年助成する妥当性	2か年継続して研究しなければ、十分な研究成果を期待できないのか					
⑦ 追加助成対象の賛否	4位以下を助成対象とすることとなり、当研究が4位以下の場合に、助成対象とする研究としてふさわしいかを判定する。					

※ 「⑥2か年助成する妥当性」は、研究期間が2か年の場合に審査する。

※ 得点が同点の場合、審査項目「④施策への反映性」の得点が高いものを助成対象とする。

[審査区分等]

- ・ 審査項目⑤は総合的な判断資料とするため、呉地域オープンカレッジネットワーク会議（以下「OCN」といいます。）プロジェクト委員会の全審査委員が記入する。
- ・ 教授部会委員、事務部会委員は、審査項目①～③及び⑥～⑦を審査する。
- ・ 学生部会委員は、審査項目①～②を審査する。
- ・ 行政職員は審査項目①～④及び⑦を審査する。

3 審査委員

OCNプロジェクト委員会委員21名及び呉市、坂町、大崎上島町の行政職員（各2名）

4 その他

審査委員が研究体制に加わっている研究については、その審査委員自身は採点しないものとする。